

平成 29 年度幼児教育の推進体制構築事業成果報告書（概要）

【基礎情報】担当部署：群馬県 前橋市教育委員会事務局 総合教育プラザ（課）

① 規模																	
人口			337,579 名（平成 30 年 3 月 31 日現在）														
② 幼児教育センター（名称：幼児教育センター）																	
設置年度			平成 15 年 4 月設置			設置形態			組織として設置								
設置場所			その他（前橋市総合教育プラザ館内 4 階）			人数			10 名（うち、常勤 3 名、非常勤 7 名） 常勤職員：指導主事 3 名（うち、割愛 2 名） 非常勤職員：嘱託 4 名、臨時 3 名								
主な業務内容			<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育に関わる研修に関すること ・就学相談、幼児教室に関すること ・市立幼稚園全般に関すること 														
③ 幼児教育アドバイザー																	
名称			人数（単費内訳）			雇用形態			主な経歴								
幼児教育アドバイザー			15 名			謝金（15 名）			大学教授・准教授・講師 幼児教育、公立幼稚園長・公立保育所長経験者、公立小学校、公立小学校長経験者 臨床発達心理士、言語聴覚士 特別支援教育経験者 子育て支援サークル、障害児療育施設長等								
主な業務内容			園所等訪問（出前研修・出前相談） 研修講師														
派遣対象地域			市内全域														
④ 全幼稚園数、認定こども園数、小学校数、保育所数（園）																	
幼稚園			幼保連携型 認定こども園			保育所			地方裁量型 認定こども園			小学校					
うち、幼稚園型 認定こども園						うち、保育所型 認定こども園											
23 園			10 園			27 園			45 園			- 園			48 校		
国	公	私	国	公	私	国	公	私	公	私	公	私	公	私			
1	3	19	-	-	10	-	-	27	18	27	-	-	-	-			
⑤ 訪問施設数（園）（平成 30 年 3 月 31 日時点）																	
幼稚園			幼保連携型 認定こども園			保育所			地方裁量型 認定こども園			小学校					
うち、幼稚園型 認定こども園						うち、保育所型 認定こども園											
9 園			3 園			6 園			11 園			- 園			13 校		
国	公	私	国	公	私	国	公	私	公	私	公	私	公	私			
0	3	6	-	-	3	-	-	6	7	4	-	-	-	-			
⑥ 訪問回数（回）（平成 30 年 3 月 31 日時点）																	
幼稚園			幼保連携型 認定こども園			保育所			地方裁量型 認定こども園			小学校					
うち、幼稚園型 認定こども園						うち、保育所型 認定こども園											
108 回			10 回			20 回			12 回			- 回			16 回		
国	公	私	国	公	私	国	公	私	公	私	公	私	公	私			
0	95	13	-	-	10	-	-	20	7	5	-	-	-	-			
⑦ ⑤以外への派遣回数（回）（平成 30 年 3 月 31 日時点）																	
127 回			総合教育プラザ、総合福祉会館等で研修会（子ども教育研修会、保幼小連携地区ブロック研修会）を実施 公民館等で出前研修（子育て井戸端会議、家庭教育学級等）を実施														

【テーマ】多様な経歴の幼児教育アドバイザーの活用について

1 これまでの経緯

○幼児教育センターについて

- ・平成 15 年 4 月 1 日 前橋市立まえばし幼稚園に併設して開所
- ・『先生と子どもを応援(先生方の研修や相談)』、『幼保小連携を応援(幼児教育と小学校教育との連携)』、『親と子を応援(保護者向け研修や相談)』の 3 つの応援スローガンを掲げ、市内園所をはじめ、関係機関との連携とともに情報提供や調査研究を行い、幼児教育の充実を目指すことを目的として「幼児教育センター」を開設。
- ・平成 17～18 年度、文部科学省指定の「幼児教育支援センター事業」に取り組む。
- ・平成 22 年 4 月 1 日、機構改革に伴い、現在の前橋市総合教育プラザ館内(4 階)に移設。

○幼児教育アドバイザーについて

- ・文部科学省指定「幼児教育支援センター事業」に取り組む中、幼児教育に専門的な知識を有する方及び幼児教育と小学校教育の双方に識見を有する方々を、それぞれ「保育カウンセラー」・「幼小連携アドバイザー」として委嘱。
- ・幼児教育センターの主催する「幼保小研修会」や「自主研修会」等の研修講座講師として、また、園所等からの依頼により保育に関する相談や特別な支援を要する幼児への対応についての相談、保護者を対象とした相談研修等の「出前訪問研修」や「出前訪問相談」等を実施。
- ・市内の幼児教育に携わる公私立園所及び教職員等を対象とする当センターの支援・研修事業として、「保育カウンセラー・幼小連携アドバイザー」の派遣回数や私立施設からの研修参加数など、十分とはいえない状況であった。

【参考】平成 18 年度

保育カウンセラー			
1	大学教授	臨床発達心理士 心理判定員経験者	※現場で継続研究
2	大学教授	臨床発達心理士	※発達相談員として現場を巡回相談
3	大学教授	臨床心理士・臨床発達心理士	※相談員経験者
4	短大教授	公立幼稚園長・私立幼稚園・児童館長経験者	
5	大学講師	公立幼稚園長経験者	※指導主事経験者
6	言語聴覚士	児童相談所相談員	
幼小連携アドバイザー			
1	大学教授	公立幼稚園副園長・特別支援教育・義務教育経験者	
2		公立幼稚園長・中学校長・義務教育・行政経験者	
3		公立幼稚園長経験者 幼稚園初任者研修指導員経験者 電話相談員他相談	

2 本事業に取り組むにあたり



前年度(H27 度)までの「保育カウンセラー(5 名)」と「幼小連携アドバイザー(4 名)」について、「幼児教育アドバイザー」と名称を統一。そして、より多くの園所等からの多様なニーズに対応できるように、特別支援教育をはじめ、幼児教育に関わる様々な経歴・専門性を有する新規 5 名を追加し 14 名体制でスタート。今年度(平成 29 年度)幼児教育アドバイザーの都合により 1 名減となるが、新たに 2 名を加え 15 名体制となった。

○平成 29 年度幼児教育アドバイザー【一覧】

No	主な経歴	H28 以前	H28	H29
1	大学講師 臨床発達心理士 保健師経験者	保育カウンセラー	継続	▶○
2	大学講師 公立幼稚園長経験者	保育カウンセラー	継続	▶○
3	大学教授 公立幼稚園長経験者	保育カウンセラー	継続	▶○
4	臨床発達心理士 発達相談員	保育カウンセラー	継続	▶○
5	臨床発達心理士 言語聴覚士	保育カウンセラー	継続	▶○
6	大学講師 公立幼稚園副園長・小学校長・特支教育経験者	幼小連携アドバイザー	継続	▶○
7	大学准教授 私立保育士経験者	幼小連携アドバイザー	継続	▶○
8	公立幼稚園長・小学校長経験者	幼小連携アドバイザー	継続	▶○
-	公立小学校長経験者	幼小連携アドバイザー	継続	▶○
9	大学講師		新規	▶○
10	障害児療育施設長 レクリエーションコーディネーター		新規	▶○
11	子育て支援サークル主催者		新規	▶○
12	公立小学校教諭(通級指導教室)経験者		新規	▶○
13	公立保育所長経験者		新規	▶○
14	公立幼稚園長・小学校長経験者			新規
15	子育て経験者			新規

○園所等訪問（幼児教育アドバイザー派遣）までの主な流れ

園所等のニーズに対応した幼児教育アドバイザーの調整による出前研修・出前相談の実施

- ① 電話による問い合わせ・申込・相談 ※ 園所等から幼児教育センターへ【TEL】
- ② 申込書の提出
 - ・〇〇について園内研修を実施したい
 - ・気になる子について、対応や支援の方法を知りたい
 - ・〇〇アドバイザーに講師をお願いしたい etc
 ※ 園所等から幼児教育センターへ【メール・FAX】
- ③ 幼児教育センター担当者が、園所等の希望や出前研修・出前相談の内容等に応じて、15名の幼児教育アドバイザーの専門性や経歴にあわせて、連絡・調整をする。
 - ※ 幼児教育センターから幼児教育アドバイザーへ【メール】
- ④ 訪問する幼児教育アドバイザー及び日程等の決定 ※ 幼児教育センターから園所等へ【TEL・メール・FAX】
- ⑤ 出前研修・相談の実施
 - ※ 15名の幼児教育アドバイザーには、事前に前・後期に分けて出前研修・出前相談等の対応可能日についてスケジュールを教えていただき、園所等と期日の調整をするとともに、各アドバイザーと個別に連絡をとり、訪問者及び訪問日を決定していく。
- ⑥ 報告書の提出
 - ・園所等から幼児教育センターへ
 - ・幼児教育アドバイザーから幼児教育センターへ



15名の幼児教育アドバイザーは、様々な経歴を有することから、園所等の多様なニーズにあわせて対応することができる反面、全て外部関係者であるため日程調整等の難しさがある。

○幼児教育アドバイザーの活用に向けて【前橋市の取組】



公立幼稚園(3園)を対象に 平成29年度
出前研修・出前相談において、「複数」の幼児教育アドバイザーによる繰り返しの「継続」訪問を実施

福祉部子育て施設課との連携により 平成28年度
市内18ヶ所の全公立保育所に出席研修・出前相談を実施

生涯学習課との連携により 平成29年度
公民館における家庭教育学級講座で『めぶく～幼児の育ち～』を活用しながら幼児教育アドバイザーを講師とする教室を開催

公私立や幼稚園・保育所(園)・認定こども園、教育委員会等の違いに関係なく 平成29年度
ともに「まえばし」の子どもを育てる一つの「チーム」として、「互いに協力連携して、寄り添い、(幼児教育の)充実と向上をめざしたい」との想いを込め、『幼児教育アドバイザー派遣事業』について『チームまえばし 保育サポート事業』と通称を設定。「幼児教育アドバイザー」の名称については、取組を通して親しんでいただいていることから変更せず継続することとした。

チームまえばし 保育サポート 事業

幼児教育アドバイザーを、より身近な存在として感じていただけるよう 平成29年度
幼児教育センターだよりで、幼児教育アドバイザーの紹介特集を掲載 (No65・66号)